

研修事例

研究開発人材育成

次世代技術活用人材育成事業

支援先

県内中小企業

【概要】

本事業は、県内企業において研究開発人材の育成を目的とし、平成28年度から実施しております。人材育成を課題に上げる企業は多く、「自社製品の開発を始めたい」「増やしたい」「そのための人材を育てたい」という要望に対応し、以下の3つの研修を実施しました。

①基礎コース

期 間：令和2年8月20日、9月2日、
9月10日、9月16日
(4日間 全9講義)

修了者：16社21名

内 容：研究開発に必要な基礎知識の修得



図1 基礎コースの様子（ウェビナー）

表1 基礎コース内容

課程	実施内容
共通カリキュラム	センターの業務紹介、知的財産、産学官金連携など
開発設計者	自社製品開発事例、製品開発、プロジェクトマネジメントなど
マネジメント	市場とマーケティング、技術戦略、標準化など

表2 技術修得コース内容

コース	対象機器
計測機器・ 材料試験・ 産業用ロボット	三次元測定器、3Dプリンタ、産業用ロボット安全特別教育（教示・検査、実技のみ）、スガ摩耗試験機など
分析機器・ 性能試験	元素分析ユニット付走査型電子顕微鏡、赤外分光光度計など
EMC試験・ 宇宙関連機器	RFイミュニティ機器、EMI機器、耐ノイズ試験機、電磁界可視化装置など
射出成形機	射出成形機
耐候試験・ 材料試験	分光測色計、メルトインデックスなど
分析機器	X線回析装置、蛍光X線分析装置、熱分析装置など

②技術修得コース

期 間：令和2年9月1日以降随時
(各設備 半日程度)

修了者：23社94名（令和3年2月末時点）

内 容：研究開発に必要な操作技術の修得



図2 技術修得コースの様子

表3 課題解決コース内容

コース	実施内容
材料評価技術	材料の試験・分析・評価技術など
CAE解析	解析・シミュレーション技術など
地域資源活用	アミノ酸分析など
IoT活用	在庫管理システム・画像処理技術など

③課題解決コース

期 間：令和2年10月1日から
令和3年1月29日まで

修了者：7社8名

内 容：中小企業等の技術課題を解決しながら開発手法を修得（4コース制）

【研修の成果】

課題解決コースのCAE解析コースを受講した株式会社アート科学では、研修で修得した流体解析手法を活かし、自社の解析依頼の受注に繋がっています。同じくIoT活用コースを受講した株式会社西野精器製作所では、研修を通して開発した在庫管理システムを社内に導入・活用しています。

基礎となった事業

令和2年度 次世代技術活用人材育成事業

現在の担当グループ

IT・マテリアルG グループ長 若生 進一 TEL:0296-293-7482
技 師 中山 恵介
会計年度職員 沖島 由幸
会計年度職員 田畑 彰文